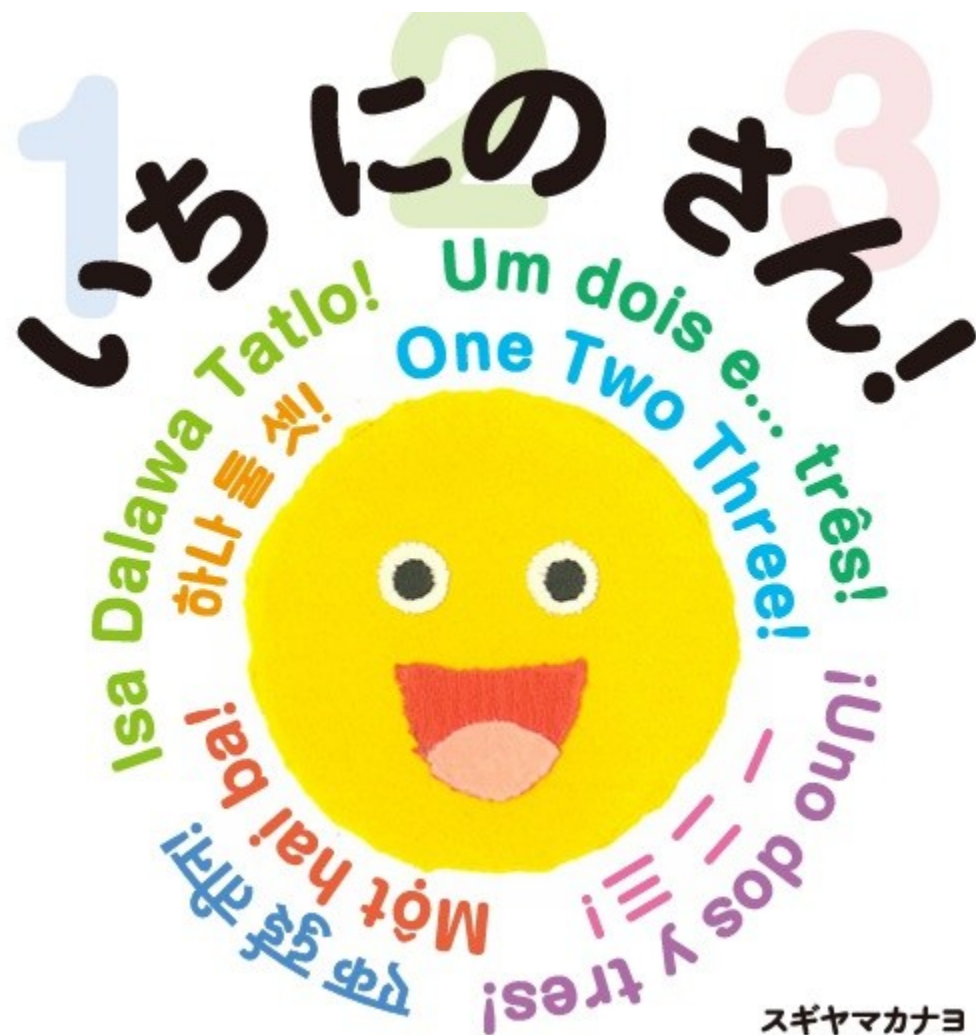


母語と日本語をつかって、みんなで遊ぼう

石原弘子（多言語絵本の会RAINBOW）

1	子ども	現在 不明 2025年11月実践予定
2	目標	「みんな違って、みんないい」が体感できること みんなとつながるために「にほんご」が必要だとわかること
3	活動	多言語赤ちゃん絵本「いち にの さん！」(2025年7月童心社発行、スギヤマカナヨ作)を使う 参加者の子どもの言語で順番に「いちにのさん」と掛け声をかけ、最後にみんな でいっしょに、日本語で掛け声をかけ、場面が変わる 数場面が展開し、最後に、みんなが集まって、各人の言葉で「ともだち」と叫ぶ 話の展開が十分わかったところで、言葉と体をつかった「あそび」に発展 する
4	工夫	絵本は判型が小さいので、A4にコピーした紙を使う リーダーは日本語から始めるが、次のリーダーは他の言語話者が行い、次々と 替わる

資料（種類：絵本のコピー）



スギヤマカナヨ



使用する場合は、出版物の二次使用の許可が必要です。
版元の童心社のホームページから、申請をしてください。